

岩手県職員（畜産職）の 業務概要

農林水産部 畜産課

1 岩手県の農業

○ 東北各県の農業産出額と全国順位 (R4)

	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
農業 産出額 (億円)	3,168	2,660	1,737	1,670	2,394	1,970
全国順位	7位	11位	18位	19位	13位	17位

うち、畜産は
1,714億円で
全体の64%

<参考>全国トップ3 (R4) 1位 北海道 2位 鹿児島県 3位 茨城県

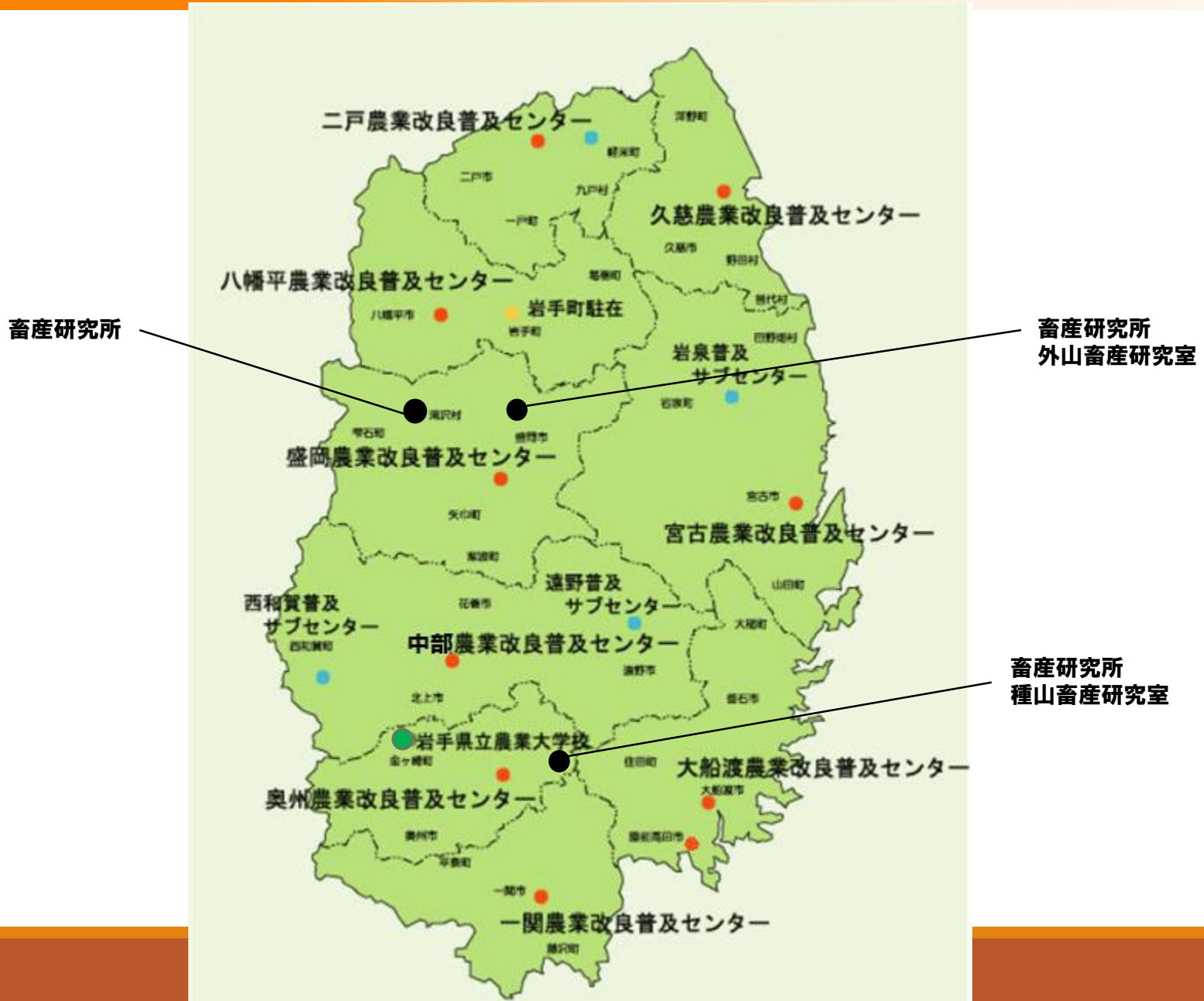
2-① 畜産職の主な配属先

- (1) 県庁農林水産部・広域振興局
農業・農村施策の企画、立案、執行
- (2) 農業改良普及センター
農業者への技術指導、就農・経営相談、
産地育成
- (3) 農業研究センター
農業経営・生産技術に関する試験研究
- (4) 農業大学校
将来の農業を担う人材の教育、育成

2-② 畜産職関係公所の所在地(県庁、振興局)



2-③ 畜産職関係公所の所在地 (普及、農研、農大)



2-④ 県庁農林水産部(畜産職関係)

室課名	主な所掌業務
農林水産企画室	農林水産部の施策等の企画・推進、総務、予算の総括
団体指導課	農業関係資金や農業共済制度の普及定着、農協等農林水産関係団体への指導監督及び検査
流通課	県産農林水産物の高付加価値化・ブランド化、県産食材の利用促進、輸出等による販路拡大
農業振興課	農業分野の企画調整、担い手確保・育成、中山間地域の活性化、農地関係の調整
農業普及技術課	新規就農者の確保・育成、農村女性育成、環境保全型農業の推進、スマート農業の推進、農業改良普及センターの機能強化、普及指導員の能力向上
畜産課	家畜の改良推進や飼料生産の推進、畜産経営者を対象とした支援資金の貸付事務、経営環境を整える基盤整備、家畜の衛生管理の指導

2-⑤ 畜産課

【主な所掌業務】

畜産に関する施策等の企画立案・調整

岩手県酪農・肉用牛生産近代化計画

参考

国基本方針 (R2.3)

I ねらいと推進方向

1 海外市場も含めて拡大が見込まれる和牛・乳製品を中心とした国産畜産物の生産基盤の強化

2 次世代に継承できる持続的な生産基盤の創出

II 施策の方向

1 生産基盤の強化

(1) 肉用牛・酪農経営の増進・増産

(2) 中小規模の家族経営を含む収益性の高い経営の育成、経営資源の継承

新項目

(3) 経営を支える労働力や次世代の人材の確保

(4) 家畜排せつ物の適正管理と利用の推進

(5) 国産飼料基盤の強化

2 需要に応じた国産畜産物の供給

(1) 需要に応じた生産・供給の実現のための対応 **新項目**

(2) 輸出の戦略的な拡大

3 産業の持続的な発展

(1) 家畜衛生対策の充実

(2) GAP等の推進

(3) 災害に強い畜産

(4) 資源循環型畜産の推進

(5) 安全確保を通じた畜産の発展

(6) 国民理解の醸成

III 生産目標

区分	H25年度	H30年度	H30/H25
酪農	90.9~100.0%		
肉用牛	117.9~130.3%		

現状・課題(県)

【酪農】

○ 飼養戸数は減少しているものの、飼養頭数及び生乳生産量は概ね維持。

区分	H25年度	H30年度	H30/H25	
飼養戸数(戸)	1,140	878	77.0%	
飼養頭数(頭)	44,000	47,000	94.2%	
1-19頭	5,010(9%)	3,724(4%)	72.9%	
飼養規模	20~29頭	167(14%)	148(17%)	88.6%
規模別戸数(戸)	30~49頭	250(24%)	187(22%)	74.8%
50頭以上	127(12%)	146(17%)	115.0%	
計	1,050(100%)	853(100%)	81.2%	
生乳生産量(t)	229,040	214,048	96.4%	

➢ 生乳生産量を確保するため、経営規模の拡大が必要。
→ 規模拡大に伴って増える労働負担を軽減するため、ICT等の活用による省力化が必要

➢ 搾乳量等の生産性の向上を図るため、飼養管理・環境の改善が必要。

【肉用牛】

○ 飼養戸数・飼養頭数は、ともに減少。
○ 繁殖農家の規模拡大は進んでいるものの、10頭未満の飼養農家の減少が顕著。

区分	H25年度	H30年度	H30/H25	
飼養戸数(戸)	5,668	4,390	77.0%	
飼養頭数(頭)	91,050	98,992	96.8%	
1-4頭	3,540(6%)	2,190(5%)	61.9%	
繁殖農家	5-9頭	1,060(19%)	909(23%)	85.8%
家飼養	10-19頭	435(8%)	565(14%)	129.9%

次期・県計画 (R3~R12) の概要

生産基盤の拡大と生産性の向上により、収益性の高い経営を確立し、競争力の高い産地を形成する。

【生産目標】

●酪農：飼養規模の拡大や泌乳能力の向上により、生乳生産量の維持をめざす。
●肉用牛：外部支援組織(キャトルセンター等)やICT等の活用により、飼養頭数の拡大をめざす。

区分	H30年度【現状】		R12年度【目標】(%)	
	飼養頭数	生乳生産量/繁殖種牛頭数	飼養頭数	生乳生産量/繁殖種牛頭数
酪農	42,000頭	214,049t	39,200頭(93.3%)	214,000t(100.0%)
肉用牛	88,690頭	32,900頭	104,800頭(118.2%)	39,800頭(121.0%)

1 生産基盤強化のための対応

(1) 肉用牛・酪農経営の増進・増産

・施設整備や機械導入により、規模拡大の取組を支援。
・外部支援組織の活用により、酪農のメガファームの育成を促進。
・一貫経営化等により、肉用牛経営の体質強化の取組を支援。

(2) 中小規模の家族経営を含む収益性の高い経営の育成

・酪農・肉用牛サポートチームの活動等により、飼養管理技術の改善やICT導入の取組を支援。【拡充】

・肉用牛経営におけるキャトルセンターの活用等により、投資を抑えた増産や省力管理の取組を促進。

(3) 経営を支える労働力や次世代の人材の確保、経営資源の継承

・専門家(税理士等)の派遣等により、後継者の経営承継や新規就農、第三者への経営承継等支援。【拡充】

(4) 家畜排せつ物の適正管理と利用の推進

・ストックマネジメントの取組により、家畜排せつ物処理施設の長寿命化を支援。

(5) 国産飼料基盤の強化

・草地基盤の整備や定期的な草地更新、適切な肥培管理などにより、飼料増産の取組を支援。
・コントラクターに対する飼料生産の技術指導により、粗飼料の広域流通の拡大を促進。【拡充】
・公共牧場や耕作放棄地等、地域や経営条件に応じた放牧を実施することにより、飼養管理の省力化等を促進。



全国和牛能力共進会

岩手県家畜排泄物利用促進計画

岩手県家畜及び鶏の改良増殖計画



公共牧場現地研修
フィールドミーティング

2-⑥ 広域振興局

【主な所掌業務】

農業振興、農業団体指導、農地調整、農業制度資金、
家畜改良増殖、草地造成改良、鳥獣被害防止対策の推進

広域 振興局名	本局 & 農林振興センター	管轄 市町村数
盛岡	本局：盛岡市	8
県南	本局：奥州市 農林振興センター：花巻市、遠野市、一関市	8
沿岸	本局：釜石市 農林振興センター：宮古市、大船渡市	9
県北	本局：久慈市 農林振興センター：二戸市	8

2-⑦ 農業改良普及センター

【主な所掌業務】

- 競争力のある経営体の育成
- 農協生産部会等の生産者組織の普及指導による強い産地づくり
- 新規就農者の確保・育成等による農村地域の課題解決

普及センター	所管市町村	普及センター	所管市町村
盛岡	盛岡市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町	一関	一関市、平泉町
八幡平 (本所・岩手町駐在)	八幡平市、葛巻町、岩手町	大船渡	大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町
中部	花巻市、北上市、遠野市、西和賀町	宮古	宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村
遠野普及 サブセンター	遠野市	岩泉普及 サブセンター	岩泉町、田野畑村
西和賀普及 サブセンター	西和賀町	久慈	久慈市、普代村、野田村、洋野町
奥州	奥州市、金ヶ崎町	二戸	二戸市、軽米町、九戸村、一戸町

2-⑧ 農業改良普及センター(活動事例)



大規模酪農経営指導



コントラクターを活用した
自給飼料生産システムの構築支援

上記に加え、生産者組織への指導や若手生産者の勉強会の支援などを行っています。

2-⑨ 農業研究センター畜産研究所

各研究室の研究内容

研究室名	主な研究内容
家畜育種研究室	<ul style="list-style-type: none">・ 肉用牛・中小家畜(豚・鶏)の育種改良・増殖技術や新たな飼養管理技術の開発を推進・ 黒毛和種種雄牛造成へのSNP解析等の先端技術の応用化
家畜飼養・飼料研究室	<ul style="list-style-type: none">・ 地域適応性の優れた自給飼料品種の選定・ 自給飼料増産のための生産調製技術の開発・ 生涯生産性の高い乳用牛の省力飼養管理技術の開発
種山畜産研究室	<ul style="list-style-type: none">・ 黒毛和種優良種雄牛の造成・ 凍結精液の安定生産と供給・ 肉用牛育種改良情報の収集・分析・提供
外山畜産研究室	<ul style="list-style-type: none">・ 岩手の豊かな草地・野草地を有効活用した、低コストで効率的な飼養管理技術の開発・実証

2-⑩農業研究センター



肉用牛・中小家畜の育種改良
(家畜育種研究室)



飼料用とうもろこしの
不耕起播種技術の実証
(家畜飼養・飼料研究室)



県有種雄牛の造成
(種山畜産研究室)



放牧管理技術の研究
(外山畜産研究室)

2-⑪ 県立農業大学校(金ヶ崎町)

【教育目標】

農業・農村が必要とする高度な専門的知識と技術、幅広い教養、国際性を身につけた有能な農業の担い手となり、地域社会を発展させる上でのリーダー的役割を担いうる農業青年を育成します。

科	学 科	経営科
本科	農産園芸学科	農産経営科
		野菜経営科
		果樹経営科
		花き経営科
	畜産学科	酪農経営科
		肉畜経営科
研修科(新規就農者等対象)		

3 結びに



○ 先輩からの声

- ・ 行政・普及・研究・教育の4分野が経験できます！
- ・ 岩手県内の各地域で生活ができ、業務を含め、地域の方との交流が楽しいです！

- ・ 畜産職以外の分野の職員や岩手県職員以外の方との業務があり、人脈を広げることができます！
- ・ 業務のことは先輩職員が教えてくれますので安心して来てください！

ぜひ一緒に仕事をしましょう！お待ちしております！